

# 議会のドキュメント

特別委員会が29年度の活動報告をまとめました  
4つの特別委員会では、区政課題について活動方針に基づき調査を行い、活動報告をまとめたので、要旨を掲載します。

## 地域抱括ケアシステム 調査特別委員会

「地域で暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの構築について」(29年度活動報告)  
高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの実現がめざされる中、区においても、国や都の動向や方針を踏まえつつ、区全体の地域特性と、各日常生活圏域別の地域特性を把握し、それぞれの圏域に応じた地域包括ケアシステムを構築していくことが求められている。  
本委員会では、「総合事業/生活支援体制整備事業」、「医療・介護連携」、「認知症施策」、「住まいと住まい方」、「基盤整備」、「シニア活動支援」、「啓発・広報」の各重点分野に沿って行った調査・研究を参考に、区の実情や地域性を勘案しながら、課題を整理し、対応策などについて検討を行った。  
できる限り住み慣れた地域や自宅暮らしを続けることを望む高齢者は今後も増加することが予想される。日常生活圏域を単位とし、それぞれの地域の多様な主体の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築が急がれており、依然として課題も多く残されていることから、引き続き本委員会において調査を行う。

## 東武東上線連続立体化・ 沿線安全対策調査特別委員会

「東武東上線立体化について」および「沿線安全対策について」(29年度活動報告)  
東上線沿線の多くの踏切は、国土交通省が指定する「開かずの踏切」に該当し、長時間に及ぶ踏切道の遮断による交通渋滞の発生や踏切事故などが喫緊の課題となっている。  
さらに、ホームドアの設置および駅周辺のバリアフリー化に向けた取り組みや、自転車駐車場の確保といった課題などもある。  
本委員会では、東上線立体化の一日も早い実現をめざした調査・検討や、沿線の安全対策、利便性の向上に向けた調査・検討を行った。  
交通渋滞や踏切事故などの問題の抜本的解決には、全線立体化を見据える必要があるが課題は多い。今後はさらに、議会・行政・沿線住民や町会・鉄道事業者・関係団体などが一体となり、立体化を含めた踏切対策を推進していく必要がある。  
また、短期的な視点による個別踏切や駅周辺の安全対策、自転車駐車場の確保など利便性向上の必要もあり、依然として課題も多く残されていることから、引き続き本委員会において調査を行う。

## 子どもの貧困対策 調査特別委員会

「子どもの貧困対策について」および「児童相談所設置について」(29年度活動報告)  
国内の子どもの相対的貧困率は約16%で、およそ6人に1人の割合となり、先進国の中でも高い水準にあるが、区における取組みは緒にたばかりである。  
また、児童福祉法の改正により、特別区においても児童相談所の設置が可能となったが、開設までには様々な課題が山積みとなっている。  
本委員会では、貧困の連鎖の解消やひとり親家庭への支援などと合わせて、児童相談所開設に係る課題について調査・検討を行った。  
子どもの貧困対策については、ひとり親家庭等生活実態調査により現状把握ができたところであるが、今後も同様の調査は必要であり、調査結果を施策にいかすためには、庁内外の連携・情報共有が重要である。  
また、施策の周知の強化や、周知方法の検討も必要である。  
児童相談所設置については、人材確保・育成、施設整備、地域や関係機関などの連携強化など、開設に向け依然として課題も多く残されていることから、引き続き本委員会において調査を行う。

## 危機管理対策 調査特別委員会

「自然災害に備えた対策について」および「感染症への対策について」(29年度活動報告)  
首都直下地震や近年全国で発生している風水害などに備えるため、防災対策の強化や高齢者などの要配慮者への支援体制の確立、受援体制や避難所整備などの課題の解決が求められている。また、東京2020大会による外国人観光客の増加により、感染症対策のさらなる強化が求められる。  
本委員会では、区民が安心して安全に暮らせるまじの実現をめざし、様々な危機への対応策について調査・検討を行った。  
自然災害については、受援拠点分散の検討、近隣自治体・大学との協定締結を進めるとともに、福祉施設での福祉避難所の開設・運営訓練実施による実行性の向上、浸水被害などに対する要配慮者施設の避難確保計画策定支援などが必要である。  
感染症については、定期予防接種の接種率向上などによる予防および感染拡大防止や、東京2020大会に向けて国や都と連携した対策強化の必要もあり、依然として課題も多く残されていることから、引き続き本委員会において調査を行う。

## 区議会を傍聴しませんか

区議会の活動を直接知っていただくための方法として「傍聴」の制度があります。本会議と委員会については特別な場合を除き公開していますので、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、本会議または委員会開会日当日に区議会事務局までお申し出ください。なお、手話通訳や一時保育の利用を希望される場合は、事前のお申込みが必要ですのでお問い合わせください。

お問い合わせ：区議会事務局庶務係 ☎3579-2703

## 特別委員会視察

### 東武東上線連続立体化・沿線安全対策調査特別委員会

今後の調査活動の参考に資するため、1月15日に東武伊勢崎線竹ノ塚駅に赴き、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業完了に至るまでの取組みについて視察を行いました。

当日は、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の概要の説明を受けたあと、駅構内を視察しました。

委員からは、基金を積み立てたきつかけ、工事期間中の騒音対策などについて活発な質疑が行われました。



竹ノ塚駅付近連続立体交差事業について説明を受ける委員

### 危機管理対策調査特別委員会

今後の調査活動の参考に資するため、2月26日に区内のがけ地に赴き、がけ地の現状についての視察を行いました。当日は、不動の滝公園ほか3か所を現地視察しました。

委員からは、自然を残した公園のがけの補強対策、東京都土砂災害警戒区域基礎調査の内容、避難勧告や避難指示を知らせる手段などについて質疑が行われ、危険度の高いがけ地の定期巡回、近隣住民



がけ地の現状について視察する委員

## 「いたばし区議会だより」配布場所のご案内

「いたばし区議会だより」は、朝日・産経・東京・日本経済・毎日・読売の各新聞に折り込み配布しています。また、区の施設や区内各駅、公衆浴場、病院などでも配布しています。ぜひ、ご利用ください。



お問い合わせ：区議会事務局調査係 ☎3579-2704

## 第2回区議会定例会の開会予定

平成30年第2回区議会定例会を6月4日(月)から6月20日(水)まで、会期17日間にわたり開会する予定です。会議は原則として午前10時(議会運営委員会は午後1時から)に開会の予定です。変更となる場合がございますので、傍聴をご希望の方は、事前に区議会事務局にお問合せください。

なお、第2回区議会定例会での審査を希望される請願・陳情は、5月24日(木)午後3時までに提出ください。

### 日程

- 5月25日 ● 告示
- 議会運営委員会
- 6月4日 ● 本会議
- 5日 ● 本会議
- 7日 ● 企画総務委員会
- 区環境委員会
- 健康福祉委員会
- 8日 ● 都市建設委員会
- 文教児童委員会
- 13日 ● 議会運営委員会
- 6月14日 ● 東武東上線連続立体化・沿線安全対策調査特別委員会
- 15日 ● 地域包括ケアシステム調査特別委員会
- 危機管理対策調査特別委員会
- 19日 ● 子どもの貧困対策調査特別委員会
- 20日 ● 本会議